

「このままでは日本の医療は崩壊する。どうしたらいいのかわからない」  
 国の政策で医療機関に支払われる診療報酬の引き下げが続く。経営が苦しくなる中で、開業医をつくる協会の仲間と一年余りの話し合いが続いた。その結論が「医療費の窓口負担ゼロの会」だった。病气やけがで診療を受けると窓口負担がある。今は、一部を除き、医療費の三割だ。  
 「われわれは診療報酬の引き上げを求めているが、そうすると患者の負担も増える。引き上げだけでは国民の理解は得られない」  
 一方で、格差社会の進行

「医療費の窓口負担ゼロ」に取り組む 平尾 紘一さん  
 神奈川県保険医協会理事長

**この人** ■診療側と患者が一緒に、国と戦える土俵ができる  
 で、窓口負担が重荷になって治療を控えたり、中断する患者が目立ってきたという声が、千二百人に。「最終的には一相次いだ。「だったら、いっそのことゼロを目指そう」  
 いい医療を提供したい、受けたらいいと思う。診療側と患者の思いは同じだ。「これで一緒に戦える土俵ができる」。世界をみれば、英国など欧州諸国の多くがカナダなどで窓口負担はほとんどない。  
 今年春から活動を始め、賛同者は既に四十二団体、約三千二百人に。「最終的には一千万人の署名を集めて政府に実現を迫りたい」  
 糖尿病の専門医。著名な糖尿病の専門病院で勤務医をしていたが、経営方針に反発して十五年前に飛び出した。「あまりの利益優先にがまんできなかった」と笑う。野辺町出身。六十六歳。(高瀬高明)



東京新聞  
 中日新聞東京本社  
 東京都千代田区内幸町二丁目1番4号  
 100-8505 電話 03(6910)2211

07年8月2日(木)  
 東京新聞

# 神奈川県保険医協会 理事長 平尾 紘一氏 取材記事一覧

東奥日報  
 〒930-0140 青森市第一旭町3丁目1番地  
 東奥日報社  
 電話 017-739-1111  
 ©東奥日報社 2007

医療費の窓口負担「ゼロの会」に取り組む 神奈川県保険医協会理事長  
**この人**  
 平尾 紘一さん  
 「このままでは日本の医療は崩壊する。どうしたらいいのかわからない」  
 国の政策で医療機関に支払われる診療報酬の引き下げが続く。経営が苦しくなる中で、開業医をつくる協会の仲間と一年余りの話し合いが続いた。その結論が「医療費の窓口負担ゼロの会」だった。病气やけがで診療を受けると窓口負担がある。今は、一部を除き、医療費の三割だ。  
 「われわれは診療報酬の引き上げを求めているが、そうすると患者の負担も増える。引き上げだけでは国民の理解は得られない」  
 一方で、格差社会の進行



署名を集め政府に実現迫りたい  
 今年春から活動を始め、賛同者は既に四十二団体、約三千二百人に。「最終的には一千万人の署名を集めて政府に実現を迫りたい」と意気込む。  
 糖尿病の専門医。著名な糖尿病の専門病院で勤務医をしていたが、経営方針に反発して十五年前に飛び出した。「あまりの利益優先にがまんできなかった」と笑う。野辺町出身。六十六歳。

07年7月28日(土)  
 東奥日報

デリー東北

ひと  
 「このままでは日本の医療は崩壊する。どうしたらいいのかわからない」  
 国の政策で医療機関に支払われる診療報酬の引き下げが続く。経営が苦しくなる中で、開業医をつくる協会の仲間と一年余りの話し合いが続いた。その結論が「医療費の窓口負担ゼロの会」だった。病气やけがで診療を受けると窓口負担がある。今は、一部を除き、医療費の三割だ。  
 「われわれは診療報酬の引き上げを求めているが、そうすると患者の負担も増える。引き上げだけでは国民の理解は得られない」  
 一方で、格差社会の進行  
 「われわれは診療報酬の引き上げを求めているが、そうすると患者の負担も増える。引き上げだけでは国民の理解は得られない」  
 一方で、格差社会の進行  
 「われわれは診療報酬の引き上げを求めているが、そうすると患者の負担も増える。引き上げだけでは国民の理解は得られない」  
 一方で、格差社会の進行



07年7月28日(土)  
 デリー東北